

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和元年5月23日

計画の名称	那珂市宅地耐震化推進事業（防災・安全）																											
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）			交付対象	那珂市																							
計画の目標	那珂市では、地域防災計画に基づき地震に強い計画的なまちづくりを目指しており、本計画では、大規模盛土造成地の変動予測調査及び調査結果に基づく大規模盛土造成地マップ等の作成を行い、住民の防災意識を向上し安全・安心に暮らせる地域づくりを推進するための基礎データを作成する。																											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・那珂市における大規模盛土造成地の把握</li> </ul>																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H28当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H30末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・第二次スクリーニング計画作成</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・大規模盛土造成地マップの公表</td> <td>0%</td> <td>-</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H30末)	・第二次スクリーニング計画作成	0%	100%	100%		・大規模盛土造成地マップの公表	0%	-	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																								
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H30末)																									
・第二次スクリーニング計画作成	0%	100%	100%																									
・大規模盛土造成地マップの公表	0%	-	100%																									
全体事業費	合計 (A+B+C)	4.698百万円	A	4.698百万円	B		C		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																		

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として那珂市で実施	平成30年12月 公表の方法 建築課窓口で公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
A1-1	防災	一般	那珂市	直接	那珂市	-		宅地耐震化推進事業	変動予測調査 (77.42km <sup>2</sup> )	那珂市						4.698	
合計											4.698						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市内における大規模盛土造成地を把握し、箇所を示したマップを公表することにより、住民の防災意識の向上に寄与した。		
II 定量的指標の達成状況	指標	最終目標値	100%
		最終実績値	100%
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	目標値と実績値に差が出た要因		

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・優先度評価実施後の次段階の調査に着手する。